

特別徴収することができない方がいるときは...

給料日の間隔が一月を超えるなどの理由により、個人住民税を特別徴収できない従業員の方がいる場合は、給与支払報告書とともに、「普通徴収切替理由書(兼仕切紙)」を提出してください。

なお、用紙は、宇都宮市で発行している「特別徴収のしおり」に添付されているものや、宇都宮市のホームページからダウンロードすることもできます。

「普通徴収切替理由書(兼仕切紙)」の提出がない場合は、特別徴収になります。

「普通徴収切替理由書(兼仕切紙)」の記載例

普通徴収切替理由書(兼仕切紙)

市区町村名	宇都宮市	指定番号	12345
事業者名	〇〇〇〇株式会社		
符号	普通徴収切替理由	人数	
普A	総従業員数が2人以下 (下記「普B」～「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人	
普B	他の事業所で特別徴収 (乙欄該当者など)	人	
普C	給与が少なく税額が引けない (年間の給与支給額が107万円以下)	人	
普D	給与の支払が不定期 (例:給与の支払が毎月でない)	1人	
普E	事業専従者 (個人事業主のみ対象)	人	
普F	退職者、退職予定者(5月末日まで)及び 休職者	2人	
合 計		3人	

① 普通徴収に切り替える従業員の「給与支払報告書(個人別明細書)」の摘要欄に、必ず符号(普A～普F)を記入してください。

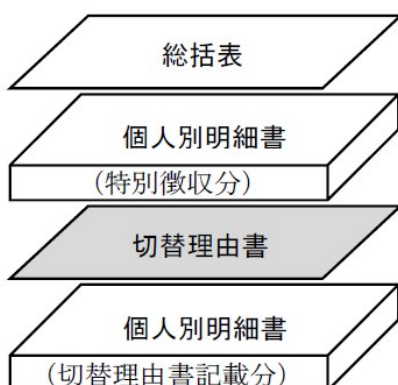
なお、エルタックスにより給与支払報告書を提出する場合は、個人別明細書の適用欄に、必ず切替理由の符号(普A～普F)を全角で入力し、「普通徴収」欄にチェックしてください。この場合、紙面での提出は不要です。

② 普A～普Fの6項目以外の切替理由は認められません。

③ 合計の人数は「給与支払報告書(総括表)」の報告人員のうち、「10宇都宮への報告人員 普通徴収」欄に記載した人員と一致します。

- 「普通徴収切替理由書(兼仕切紙)」を普通徴収に切り替える方(特別徴収できない方)の個人別明細書の上に挿入し、提出してください(提出時の綴り方等は、下図をご参照ください。)
- 「普通徴収切替理由書(兼仕切紙)」により普通徴収への切り替えを申し出た場合でも、確認の結果、特別徴収になる場合があります。

〈提出時の綴り方〉



〈給与支払報告書個人別明細書 抜粋〉

特定親族特別控除の額	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
円 内	円	円	円	円

(摘要)

普F 令和8年3月31日退職予定

生命保険料の金額	新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額	介護医療保険料の金額	新個人年金保険料の金額	旧個人年金保険料の金額
円	円	円	円	円	円
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
生年月日	生年月日	生年月日	生年月日	生年月日	生年月日
退職者	退職者	退職者	退職者	退職者	退職者
退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日
7					

乙欄適用又は退職年月日の記入があれば、符号の記入は不要です。
退職予定者は、退職予定日を摘要欄に記入してください。